



令和六年 元旦

神田トラック運送事業協同組合

理事長 澁谷 隆義
 副理事長 原 島 藤 壽
 “ “ “ 佐 藤 克 典
 役員 田 中 敏 之
 菅 沼 寛 二
 他 役 員 一 同

旧年中は組合の運営と
 事業利用に格別のご協力を
 賜わり厚くお礼申し上げます
 本年も相変わらずご支援の程
 お願ひ申し上げます



謹 賀 新 年



発行所

東京都千代田区内神田 1-12-3

神田トラック運送事業協同組合

電話 03-3259-9977 (代)

FAX 03-3259-9988

2024年 年頭のご挨拶

理事長

澁谷 隆義



新年明けましておめでとうございます。
 組合員の皆様におかれましては健康やかに
 新春を過ごされたこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍から完全に解放された訳
 ではありませんが移動の制約もなくなり思
 い思いの場所での年末年始を過ごされたこと
 と思います。

新年を迎え世界的にはロシア・ウクライナ
 情勢に加えイスラエル問題も起こり日本経
 済に及ぼす影響はまだまだ計り知れません。
 国内においても二〇二四年問題が間近に
 迫り燃料価額も依然不透明です。

組合員の皆様にとって自社の経営努力も
 大変な中、当組合に対してご支援とご協力を
 いただき誠にありがとうございます。おかげ
 様で組合事業も順調に推移しております。

さて来年は組合創立五十周年を迎えます。
 来期中には記念式典を考えており、幹部一同
 それに向けて頑張る所存です。

結びにあたり二〇二四年が当組合にとって
 更なる発展、そして組合員皆様のご事業・

ご家族にとって幸せな一年となることを祈
 念して年頭の挨拶と致します。

✳️新春特別寄稿✳️

『免許返納が不要になる
 時代に間に合う?』

(株)マルノウチホールディング

執行役員管理部長 石踊 卓也



新年、明けましておめでとうございます。
 皆様方におかれましては、清々しい新年を
 お迎えのこととお慶び申し上げます。

先日、久しくご無沙汰していた前の勤務先
 の恩師(新卒で入社した時の営業所長・御年
 83歳)に電話した所、8月に奥様が脳疾患で
 倒れて緊急入院し手術を行い、現在はほぼ意
 識不明状態で入院していると聞かされまし
 た。恩師ご本人も2年前に腰痛の手術を行っ
 たものの治癒せず、いまだに極度の腰痛と、
 副作用で味覚障害・歩行困難状態を患ってお
 り、現在は一軒家に独居しております。

恩師にはお子さんや身近な親族がいらっしゃらず、何とか自力で生活をされているとの事。元々金銭管理は全て奥様に託していたので、銀行通帳のありかや預金残高を全く知らず、唯一一枚だけ自己管理していた年金振込口座の銀行カードが財布に入っていた為、それで日々の生活資金を賄っているそうです。

1日おきに入院先の病院へ行き、奥様のお見舞いと身の回りのお世話をされているそうですが、入院先は自宅から10km以上離れた所に有り、極度の腰痛の為、電車とバスを乗り継いで行く事は困難で、かといって銀行通帳が見付からないので、むやみにタクシーを使って散財する訳にもいかず、自ら軽自動車を運転して病院に通っておられました。

「とにかく、危ないから車の運転は控えて下さい」「当時の営業所時代の有志が交代で送迎します」と懇願。提案するも、「大丈夫」の一点張りを取り付く島がありません。

恩師曰く、「毎日、老人が自動車の運転を誤って事故を起こすニュースが流れるけど、独居老人にとっては車が無いと生活が出来ない訳で、『事故』老人運転は危険。老人はすべきではない」という所だけを切り取って報道される事に憤りを感じる」と仰っていました。

恩師は東京都狛江市に在住で、ご自宅にはハンドル付の電動カートも有るので、簡単な買物は電動カートで済ませているそうですが、「地方では車でない移動は不可能で、独居老人は買物や病院の通院が立ち行かなくなる！」と仰っています。

マルノウチグループの基幹事業は新車のカーキヤリア事業で、将来的に自動運転が普

及すると事業の根幹に影響する訳で、ビジネス視点では複雑な心境ですが、今後到来する超高齢化社会の視点では、自動運転や事故防止装置といった先端技術によって老人が安全に自力で車を利用出来る環境が早く実現しないかと願うばかりです。私事、昨年の10月に還暦を迎え、最近は「免許返納まであと何年？」などと意識し始めましたが、自身が免許返納年齢に到達する頃には新技術が確立し、免許返納自体が不要になっている事に期待して技術発展を見守っていきたいと思っています。

新年を迎えて

カンダコーポレーション(株)

取締役 田中 隆雄



皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、今年は4年ぶりの行動制限のない穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、私、昨年の6月に前任の土屋の定年退職に伴い理事に就任致しました、カンダコーポレーション(株)の田中隆雄でございます。今後共よろしくお願ひ申し上げます。今回、新春号への寄稿という事で、私事で恐縮ですが旅行

記(と言っても私の家内から聞いた話ですが)などを披露したいと思っています。

これは、昨年の十月に家内が娘とスリランカに一週間ほど旅行した話です。母娘二人で何故にスリランカ旅行?と、不思議に思われるかもしれません。簡単に言うると、娘の友人(スリランカ人)の結婚式に参列がてらスリランカを旅行したということです。それと、スリランカってどこにあるの?とおっしゃる方のために少し解説いたしますと、スリランカは、インド大陸南端のすこし東にある北海道ほどの大きさの島国です。昔はセイロンと呼んでいましたので、セイロンと言えばピンとくる方もいらっしゃるのではないかと思います。この島は、インドまで頑張れば泳いででもいけそうなほど近いのですが、両国は全く異なった文化を有しています。例えば、インドは主にヒンズー教なのに対し、スリランカは主に仏教となっており、従ってインドでは牛は食べませんが、スリランカでは何でも食べます。少し汚い話ですが、インド旅行者は、ほとんどが着いたその日からトイレダッシュと言われていますが、スリランカではそうでもないようです。実際、家内も現地トイレダッシュを経験しなかったそうです。(もちろん生水は×です)

ただ、さすがにこれだけ距離的に近いと似ているところもあります。一番似ているのは食事の味付けです。そうです、スリランカも三度三度カレー味です。家内も、食事はすごくおいしいけれど、三度三度カレー味が一週間も続くさすがに何でもいらいからカレー味でないものを食べたくなった、と言っておりました。

それと、日本人に対しては、ほとんどの人

が親日的だそうです。街や観光地に行くとき現地の人が大勢寄ってきて、俺がこれこれをやっているのだ、これを買えだの大変みたいです。(何故か日本人は、特に好かれているみたいです。)それと、治安は国家財政再建中の国とは思えないほどいいみたいです。家内も旅行中、怖いとか危ないという思いをしたことが無かったとのこと。仏教国という事も関係しているかもしれません。

首都はコロンボですが、ここは特に観光するようなどころは無いみたいです。スリランカには、シギリヤロック(ペルスのマチュピチュ遺跡の岩版?)のような世界遺産や国立公園でのジープサファリ(いろいろな野生動物特に象の群れに遭遇すると感動ものな事です)などがあり、こういった所が人気とのこと。



家内が旅行中驚いたのは、街中でも観光地でもやたらサルが多いという事です。野外でランチを食べている際、近くでクンクン声があるので、犬が食べ物をねだりに来たのかと思つて声の方を見ると、サルがお座りしてクンクン鳴いていたそうです。

このようなお国ですが、家内的には気に入ったみたいで、現状、夫婦の次回の旅行先候補（最有力候補？）になっております。仕事とは直接関係ないばかりか取り留めもない話になり大変失礼いたしました。最後になりますが、組合員皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたって

名鉄ゴールデン航空㈱

代表取締役 鷗澤 清雅



神田トラック運送事業協同組合の組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は理事の方々をはじめ事務局の方々、組合員の方々には大変お世話になりました。

この場をお借り致しまして御礼申し上げます。

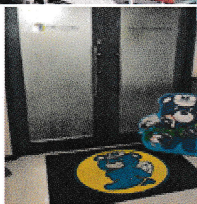
これまで景気を押し上げてきたコロナ禍明け後の需要回復はほぼ一巡し、2023年度後半からは景気回復が緩やかなペースとなりました。2024年度も景気の緩やかな回復が続き、実質GDP成長率は前年比+1.0%と4年連続でプラス成長を達成すると見込まれておりますが、一方で人件費や物流コストの増加と相まって物価上昇圧力の強い状態が続くと予想され、景気の下振れ要因は多く、先行き不透明な状況と言えるでしょう。また我々の業界に目を向けると、2024年問題に起因した輸送力不足と慢性的なドライバー不足により、荷主様ニーズに答えられなくなるのが最大のリスクではないでしょうか。今年はこの問題とどう向き合い、どう克服するかが問われる年で非常に厳しい1年になると考えております。ぜひとも組合員の皆様と知恵を出し合い、一致団結して乗り越えていきたいと思っておりますので引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に弊社の話で大変恐縮ですが、会社の紹介をさせていただきます。

お客様の大事な商品を「安全・確実なセキュリティ輸送」で安心をお届けします！

●会社概要

当社は1969年に創業し、現在、東京都江東区南砂に本社を構えています。航空貨物事業を核としながら、倉庫業（保管、流通加工など）も運営している物流事業者となります。特にセキュリティ性の高い商品の取扱いは、荷主様から大変高い評価をいただいております。従業員全員が自身の職務に誇りを持ち業務に励んでいます。



●当社の強み

当社は名鉄運輸グループの配送網を利用して、全国配送ネットワークを確立しています。また、航空貨物利用運送事業者である当社は、航空機を利用することにより遠隔地へも早く商品をお届けすることが可能です。さらにセキュリティ性の高い輸送を得意とし、様々なニーズにお応えいたします。専用輸送資材を用意してGPS端末との組み合わせにより現在地トレースも簡単に行えます。

●今後の展望

荷主様に信頼され続ける企業を目指し、品質にこだわりを持ち続けます。今後は倉庫業務にもより一層注力をして、お客様に頼っていただけるような会社作りをしていきます。

と思います。また、若い世代にも物流業に興味を持ってもらえるような時代に沿った社風を築き、従業員の「やる気」を一層上げて、社会インフラの物流の一旦に大きく貢献していきたいと考えています。

『札所巡り』の旅

(株)日本運搬社

取締役管理本部長 村上 誠司



明けましておめでとうございます。前回の投稿から早6年の歳月が流れました。「年を取ると1年が早い」と感じるのはジャーネーの法則（心理的な時間の長さは年齢に反比例する）によるものなのでしょう。

お遍路という四国八十八箇所のお寺をお参りする旅を思い浮かべる方が多いと思います。その時にいただくのが納経印（御朱印）です。御朱印は本来、写経を納めた時の受付印として授与されるものですが、今では参拝の証として御朱印をいただくことができます。

亡父は愛媛出身ということもあり、弘法大

師に帰依し、亡くなった母の菩提を弔うために巡礼の旅を始めました。数年後には四国八十八箇所公認先達の補任を受け、13年間毎年四国八十八箇所巡礼を欠かさず行っておりましたが、亡くなる1年前には、巡礼も儘ならないようでした。父の出身である伊予大島にも鳥四国霊場があり、四国別格二十霊場、西国三十三所、坂東三十三所、秩父三十三所のすべての霊場をめぐる日本百観音も結願成就をなし、東寺の巡礼仲間たちと旅を楽しんでおりましたが、2014年(平成26年)に鬼籍に入りました。

私も初めて御朱印を貰ってから満21年を迎え、その数418体となりました。今では御朱印ブームとなり、若い女性の方も御朱印帳を持って巡っています。他にも「御城印」や「鉄印」を集める旅も流行りつつあります。

初めて御朱印をいただいたのが、鞍馬の由岐神社でした。神社の御朱印はどちらかというと達筆ではなくちよつとガツカリなものも多いのですが、こちらの御朱印は流れるような字体でとてもよいものでした。

一番印象深かったのは和歌山の青岸渡寺(西国第一番札所)のものです。すごくダイナミックな字体でとても気に入っています。奈良県橿原市にある小房観音で御朱印をいただいた際、「御朱印帳を拝見してもよろしいでしょうか」と言われ、最初の頁からご覧になっていたところ「こちらの御朱印はどちらでいただいたものか覚えていらっしゃいますか」と問われたのが、青岸渡寺のものでした。小房観音の御朱印も達筆でしたが、「このような御朱印が書けるように勉強します」と仰っていたのが印象に残っております。昨年、京都にある御寺泉涌寺のブライバー

トブレミアム特別拝観を体験しました。家内と二人だけで僧侶の解説付きで普段拝観できない場所への拝観や文化体験をすることができました。

まず、矢尾治の松花堂弁当で昼食を取り、特別拝観へと向い、途中の文化体験は阿字観(瞑想)と写経のどちらかを選ぶのですが、阿字観の作法と清浄体操はちよつと難しかったので、私たちは写経を選びました。写経をするのは初めての体験でしたが、我ながらよく書けたと思っております。写経が終わったところで笹屋伊織の生菓子と御寺好みの抹茶をいただき、引き続き普段入れない舍利殿や霊明殿(歴代天皇の位牌が安置されている場所)等を巡ります。泉涌寺は三度目になりますが、詳しい解説を聞くと新しい発見があり、とても新鮮で荘厳な美しさを味わうことができました。3時間半はあっという間に過ぎ、京都へ行くといつも立ち寄るお気に入りの居酒屋へ向かいました。こちらにも楽しみの一つとなっています。

毎年、秘仏特別開帳の情報を得ては気儘に旅に出ております。

昨年は、聖徳太子1400年御遠忌で秘仏特別開帳があり、観音正寺、瓦屋禅寺、石馬寺に行きました。観音正寺は西国第三十二番札所(次回は33年後、観音寺城跡の石垣が残り眼下に安土のパノラマが広がる絶景。瓦屋禅寺は、伝聖徳太子作十一面千手千眼観世音菩薩が50年ぶりの大開帳。次回は33年後予定)。石馬寺は70年ぶりの特別大開帳。次回未定。姫路にある書寫山圓教寺(西国第二十七番札所の奥秘伝、こちらの尊像は平成18年性空上人耆千年遠忌に歴史上初めて開帳され、昨年は二度目となり伊興開帳の予定無しと

の事です。

この機械を逃すと次回の開帳時には、既に鬼籍に入っている身ですので、是非とも拝んでおかねばという思いで旅に出ました。石馬寺のご本尊十一面千手観世音菩薩立像は、市指定文化財ながらとても厳かで暫く見惚れておりました。

今年は、西国札所結願を成就したいと思っております。三箇所を残すのみとなつてはいるものの西国でも一番の難所といわれている施福寺が残っているため、心身ともに健康なうちに掛けたいものです。

福山(広島県)の明王院も秋に特別開帳の時期を迎えるので楽しみにしております。

皆様も健康祈願や亡くなった方の供養、自分を見つめ直す旅に出かけてみては如何でしょうか。

◆お知らせ◆

○1月上旬、お年賀の御挨拶に代えて、恒例により三越から粗品をお届け致しましたので、ご査収下さるようお願い致します。

○2024年新年講演会・懇親会開催について
日時 2024年1月25日(木)17時
場所 ホテルメトロポリタンエンドモント

既にご案内をしておりますが、今回はホテルメトロポリタンエンドモント、総料理長 岩崎 均様をゲストに迎え、「食探検を一緒に!」のテーマから出汁の味覚体験、他食材の食べ比べ等を、実際皆様体験して頂く企画です。

終了後、同会場で引き続き懇親会を開催いたします。

是非多くの皆様のご参加お待ちしております。

○昨年は、世界中を震撼させたコロナウイルス感染の恐怖からも解放されていく中、異常気象による災害や、海の向こうでは現実として受け止めるには、あまりにも惨い事があり胸が痛むことが多くありました。

国内でも凶暴、悪質な犯罪が多発し罪を犯す者も低年齢化しているように思えました。

運送業界は変わらぬ燃料高騰、運賃問題、人手不足は何よりひっ迫した問題でしよう。2024年問題、その該当の年を迎えました。どのような影響が生じていくのでしょうか。将来を担う若者達が運送業界へと望み業界になって欲しいものです。

当組合は2023年1月31日創立50周年を迎えます。

まだまだ問題山積な運送業界ですが、組合員様のご負担が、難問が少しでも解決できるような情報発信と事業の運営を行いたいと思います。

そして組合員の皆様、お世話になった方々、関係する全ての皆様と一緒に集まり周年行事を迎えられるよう進んで参ります。本年も皆様ご協力、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

